

第68回 神奈川県青少年剣道選手権大会要項

延期開催のお知らせ

1 目的 将来を担う青少年が剣道の試合を通じて心身を鍛え、年齢別に技を競うことにより、剣道に対する意欲を持たせ、剣道の普及発展を図るものである。

2 日時 ~~令和6年9月1日(日)~~ **令和7年1月19日(日)**
受付 9:00~9:25
開会式 9:30

3 会場 神奈川県立武道館

4 主催 神奈川県剣道連盟

5 試合内容 少年の部 年齢別個人選手権試合
青年の部 個人選手権試合
女子の部 個人選手権試合

6 参加資格 神奈川県剣道連盟に登録している下記の者
少年の部 中学1年生 中学2年生 中学3年生
 高校1年生 高校2年生 高校3年生
 18歳の部(含大学生) 19歳の部(含大学生)
青年の部 満20歳より25歳までの者(含大学生)
女子の部 中学女子 高校女子
 一般女子(含大学生)は満18歳より25歳までの者
※年齢起算日は各部共に満年齢で、起算は令和6年4月1日現在とする

7 参加人員 少年の部 各年齢別 1名、計8名
 青年の部 1名
 女子の部 中学女子・高校女子・一般女子各1名、計3名
 合計 12名

8 試合方法

トーナメント方式

- (1) 試合は、全日本剣道連盟試合・審判規則と同細則による。
- (2) 試合時間は、3分、3本勝負とする。
- (3) 試合時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行い、先に一本取得したものを勝ちとする。なお延長に入ってから試合時間は2分区切りで勝敗が決するまで継続する。

9 得点

・1位 7点 ・2位 5点 ・3位(2名) 3点 ・敢闘賞(4名) 1点

10 表彰

- ・各部門毎に、優勝、準優勝、3位(2名)、敢闘賞(4名)を表彰する
- ・各部門の優勝者には優勝杯を授与する
- ・得点により、総合優勝の支部には優勝楯を授与する。

11 会場係員

係員は**横浜市以外の県下全17支部**から1名ずつお願いします。
警備係は**泉区・栄区**から1名ずつお願いします
※変更有り無しに関わらず記載願います

12 参加料

~~支部にてとりまとめ、1支部あたり3,000円を納入願います。~~
既にいただいておりますので不要です

13 申込方法

申込書の**エクセルデータ**(PDF・手書きはご遠慮ください)をメールにて
~~8月2日(金)12時~~までに県連事務局宛に送信してください。
※※変更なくとも、令和6年12月6日(金)12時までに送信してください。

14 注意事項

出場選手は必ず各支部別の標識(名札)をつけること。
申込締切日(~~8/2~~)後の選手の変更は認めません。
令和6年12月6日
主催者は、医師を配置しますが応急手当以外の責任は負いません。
主催者は、傷害保険に加入します。(疾病等には適用されません、ご注意ください)
この大会は観覧、撮影自由ですが、本人の同意のない個人の動画等をSNS等へアップロードすることは原則禁止です。

【剣道用具の取り扱いについて】

大会・予選会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。

(1)竹刀については次の事項を遵守すること。

●竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値)は、表1、表2および図のとおりとする。

●ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。

(2)小手については次の事項を遵守すること。

●小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。

●小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。

(3)面については次の事項を遵守すること。

●面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

(4)剣道着については次の事項を遵守すること。

●剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の基準 (一刀の場合)

| 対 象 | | 中学生 | 高校生 (相当年齢の者も含む) | 大学生・一般 | |
|-----|------|--------------|--------------------|--------------|------------|
| 長さ | 男女共通 | 114センチメートル以下 | 117センチメートル以下 | 120センチメートル以下 | |
| 重さ | 男 性 | 440グラム以上 | 480グラム以上 | 510グラム以上 | |
| | 女 性 | 400グラム以上 | 420グラム以上 | 440グラム以上 | |
| 太さ | 男性 | 先端部 最小直径 | 25ミリメートル以上 | 26ミリメートル以上 | 26ミリメートル以上 |
| | | ちくとう 最小直径 | 20ミリメートル以上 | 21ミリメートル以上 | 21ミリメートル以上 |
| | 女性 | 先端部 最小直径 | 24ミリメートル以上 | 25ミリメートル以上 | 25ミリメートル以上 |
| | | ちくとう 最小直径 | 19ミリメートル以上 | 20ミリメートル以上 | 20ミリメートル以上 |

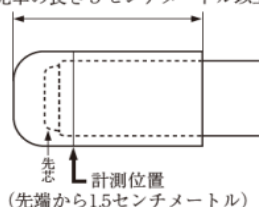
表2 竹刀の基準 (二刀の場合)

| 対 象 | | 大学生・一般 | | |
|-----|------|--------------|-------------|------------|
| | | 大 刀 | 小 刀 | |
| 長さ | 男女共通 | 114センチメートル以下 | 62センチメートル以下 | |
| 重さ | 男 性 | 440グラム以上 | 280～300グラム | |
| | 女 性 | 400グラム以上 | 250～280グラム | |
| 太さ | 男性 | 先端部 最小直径 | 25ミリメートル以上 | 24ミリメートル以上 |
| | | ちくとう 最小直径 | 20ミリメートル以上 | 19ミリメートル以上 |
| | 女性 | 先端部 最小直径 | 24ミリメートル以上 | 24ミリメートル以上 |
| | | ちくとう 最小直径 | 19ミリメートル以上 | 19ミリメートル以上 |

図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>

